

2009PCカンファレンス 企業セッション 8月10日（月）午前

	1	2	3	4	5	6
発表時間	9:00 ～ 9:25	9:35 ～ 10:00	10:10 ～ 10:35	10:45 ～ 11:10	11:20 ～ 11:45	11:55 ～ 12:20
タイトル	技術英語パワーアップコース	オープンソースソフトウェアのMoodleとSTACKで実現する数学eラーニング	PC教室に於ける印刷管理システム導入の成功事例紹介	教育現場におけるセキュリティ対策 ～USBメモリ編～	Bizシミュレーションゲームとディスカッションで鍛えるロジカル問題解決力 講座プログラムの実践報告 & アンケート集計結果報告	国立大学法人鳴門教育大学と 協同開発した「知の総合化ノート」
企業名	アルク教育社 福岡支店	(株) eラーニングサービス	キャノンマーケティングジャパン(株) エリア事業推進本部文教委推進課	アルプスシステム インテグレーション(株)	(株) アントルピーンズ	(株) ジェイアール四国 コミュニケーションウェア
登壇者	森山 光	中原 敬広	大倉 剛	志賀 信彦	彌島 康朗	藤沢 宏茂
要旨	理系たまごシリーズなど理工系の英語ニーズに対応してきたアルクでは、昨年eラーニングで学ぶ理工系学生及び院生のための新コースをリリースしました。理系論文攻略はもとよりアニメーションでわかりやすく解説したワンポイント理系表現などリリース直後から反響のあったコンテンツをデモを通してご紹介いたします。	STACKはイギリスで開発された数学のためのオンラインテスト・評価システムであり、受験者からの教式を含む回答を評価し、正誤を自動判定すること、受験後に教師による解法の解説をフィードバックとして与えること、などが可能である。Moodleはオープンソースソフトウェアのeラーニングシステムであり、MIME-TEXTによる教式の表示は可能であるが、教式処理機能は持っていない。STACKはオープンソースソフトウェアの教式処理エンジンを持ったオンラインテストシステムであり、バージョン2.0でMoodleとの連携が実現され、小テストモジュールの問題にSTACKの問題を組み込むことが可能となった。これにより、多肢選択問題、〇/×問題、記述問題に加えて、教式の微分・積分など教式を使った数学の問題も使用することが可能となった。本報告では、STACKの日本語化の取り組みおよびアダプティブテストへの応用について紹介する。	現在、大学のPC教室では、学生の授業時の出席率向上と教室開放時の利用率向上の為に様々な工夫がなされており、しかしながらついつい後回しにされがちなのが出力環境の適正化です。魅力ある教育環境の提供と同時に、出力環境（プリンタ周り）においても自由度を高め過ぎてしまうと、ひいては学生のモラル面の低下や消耗品（トナー・用紙）費用の増加、機器のメンテナンスによる費用や管理者の負荷を著しく増大させてしまう結果になり兼ねません。本印刷管理システムの導入によって、学生の利便性を損なうことなく、出力環境を適正且つ効率的な運営に成功している事例をご紹介します。	1. 教育現場におけるUSB利用実態 －教育現場においてUSBメモリを使用するケースが非常に多い －（例1）学校の先生が学校もデータを持ち帰り自宅です仕事を進める。成績など生徒の個人情報も持ち帰るケースも多い。 －（例2）大学や大学院の研究室の重要な研究内容を持ち運び、自宅や大学内の他のPCにて利用。 2. USBメモリを利用することによるリスク －①紛失・盗難 －②情報漏洩 －③ウイルス感染 －具体的な調査データや新聞記事による補足説明。 －昨今、実際に判明している事件の紹介。 3. 上記リスクに対するALSIからの提案 －盗難・紛失対策に偏っていた従来のソリューションとは一線を隔した、上記3リスクをトータル的にカバーできるソリューションを提案。 4. ALSIの教育現場における取り組み －ALSIは携帯電話や2万台以上の学校PCなどにおいて子供のインターネット利用の安全を守っています	シミュレーションソフト教材ご紹介及び思考体験型の教育プログラムの実践報告を予定しています。学生の受講前後のアンケート集計結果で、意識の変化を確認して下さい。実際の画面や動きをご覧頂き、学生の体験や取り巻く社会を考える上で貢献する情報活用に関連したキャリア教育をイメージして頂きやすいと思います。講座は、Bizシミュレーションゲームを材料にディスカッションし、受講生がPlan-Do-Seeを体得していく内容となります。 a) グループディスカッション + シミュレーション 情報収集 → 分析 → 仮説構想 → 実行 → 検証 → 修正 b) 全体討議 『記者会見』 プレゼンテーション + 質疑応答 教育効果として、問題を解決できる論理的思考スキルの獲得を目指します。 ①意思決定過程を見える化し、問題を共有できる ②原因に優先順位を付け、結果を検証し、改善策を立てることができる ③論理的な説明、情報を引き出す質問などコミュニケーションスキルの獲得	教職は、大学までの学習者の立場での様々な経験や大学における学習、ボランティアや部活動、アルバイトなどの様々な体験が後々に生きる職業です。如何に意識し大学生を送るかが後の教職に大きくかかわってきます。「知の総合化ノート」は学生が大学内外で経験する様々な学びを自分の電子ノートにまとめ、公開して指導教員や他の学生から専門的かつ客観的な視点でアドバイスや意見をもらいながら、より思考を深めて知を総合化していくシステムです。国立大学法人鳴門教育大学が平成18年度文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」に採択され、3年間かけて当社と共同開発しました。「知の総合化ノート」を使用して学生は自分の電子ノートを作成、蓄積し、必要に応じて電子ノートを公開することによって、指導教員や他の学生から専門的かつ客観的なコメントやアドバイスをもらうことができます。そして書かれたコメント、アドバイスを参照して、より思考を深め、自分の電子ノートをさらに充実させていくことができます。在学中での様々な学びの蓄積を大いにその後の教職に活用し、かつ卒業後においてもこの電子ノートを充実して行って欲しいと願っています。

2009PCカンファレンス 企業セッション 8月10日(月)午後

	7	8	9	10	11	12	13	14
発表時間	13:45 ~ 14:10	14:20 ~ 14:45	14:55 ~ 15:20	15:30 ~ 15:55	16:05 ~ 16:30	16:40 ~ 17:05	17:15 ~ 17:40	17:50 ~ 18:15
タイトル	(仮) PCの教育産業への導入事例のご紹介	教育現場におけるネットブック活用事例と可能性	大学生協における学生参加型SNSを通じた学生の学びの機会創造事例	全国大学共通を目指したリメディアル教材の制作	情報リテラシー用テキスト制作における新しいアプローチ	大学や企業における「マイクロソフト認定資格MOS・MCAS」の活用事例のご紹介	～ 初年次教育から就職まで、4年間フルに使える～情報活用力診断テストRastiを評価軸とした「社会人基礎力」「学士力」育成プログラムのご提案	Mobile Learning ～Mac, iPod, iPhoneがもたらすモバイル学習環境～
企業名	レノボ・ジャパン(株)	丸紅インフォテック(株)・甲南大学マネジメント創造学部・日本ビューレットバックカード(株)	生活協同組合連合会大学生協 神戸事業連合	(株)デジタルメディアグロース・佐賀大学高等教育開発センター	(株)日経BPソフトプレス	(株)オデッセイ コミュニケーションズ	(株)ワークアカデミー	アップルジャパン(株)
登壇者	永原 誠士	清水 毅・井上 明・山上 正彦	寺尾 善喜	山口 知広・穂屋下 茂	柳田 俊彦	本間 千秋	吉川 聡	アップルジャパン(株)文教営業本部
要旨	Lenovoは、LenovoグループとIBMのPC事業との統合により誕生した、革新的なインターナショナル・テクノロジー・カンパニーです。PC市場におけるグローバル・リーダーとして、最先端のテクノロジーと高いオリエティを備えた信頼性の高いPCと、質の高いプロフェッショナル・サービスをご提供することで、世界中のお客様に高い生産性と競争力をご提供しております。 当セッションでは世界の教育産業におけるPCの導入事例のご紹介とともに最先端の情報をお届けします。	発展途上国における教育分野への普及を目的とした「100ドルPC」がインターネット利用にフォーカスした「ネットブック」として独自の進化を遂げ、我が国でも2007年に発売されました。従来PCにない低価格と優れた携帯性が一般ユーザーを中心に受け入れられ、現在では国内ノート型PC出荷台数の約3割をネットブックが占めるまでになりました。 これだけの実績を確立したネットブックですが、各教育機関では活用を検討しているものの、具体的事例が身近にない、導入に踏み切れないという声をよく耳にします。 では、ネットブックにはどのような活用方法があるのか、どのような効果が見込めるのか、そして導入するにはどのような環境を学内に整備すべきかを、甲南大学マネジメント創造学部での導入事例を中心にご紹介致します。 また、ネットブックの今後の可能性を最新トレンド、テクノロジーを交えてご紹介致します。 また、ネットブックの今後の可能性を最新トレンド、テクノロジーを交えてご紹介致します。	神戸事業連合では2007年4月から実在確認制による学生参加型SNS(マイコネクト)の運営を開始し、2009年4月時点で約10,000人の登録者となっている。この2ヵ年の取り組みの中で、学生参加による、学生相互の学びの機会創造が旺盛に展開されるようになった。「読書離れ」が喧伝されるなかでも本SNS内での学生の自主的なレビュー投稿は3,600件を超えている(「読書マラソン」SNS版)。そこから派生した「マイコネ読書会」はSNSでのつながりがリアルでの読書会に発展した事例。学生参加型SNSらしく、フェア・トレードや環境への取り組みやボランティアなどのコミュニティが立ち上げられている。大学自体もこのSNSを活用して、就職活動に向けた学生同士の動機付けの場を提供し始めた。	近年、入学生の数学や理科等の基礎科目の学力が低く、大学は危機を募らせている。その対応策として、リメディアル教育が注目されている。リメディアルコンテンツをeラーニング化すると、より多くの学生に対してリメディアル教育を行うことができるので、学習効果の向上と大学全体としての基礎学力のアップにも繋がる期待される。eラーニングによるリメディアル教育の飛躍的な進展を図るためには、学生の学力に応じたコンテンツが必要になるので、質の高いコンテンツを多種多量に充実させなければならない。大量のコンテンツ制作に必要なのが、制作工程のスリム化と作業の高効率化である。弊社では、佐賀大学の指導の下、コンテンツのテンプレート、それへのデータ入力を自動化するプログラムを開発して、質の高いコンテンツを多種多量に制作できるシステムを構築した。Moodle上で作動するFlash形式の演習問題の制作について報告する。	情報リテラシーまたはコンピュータ/情報概論などの講義で使うテキストに関して、次のような課題を感じていませんか? ・ソフトウェアのバージョンアップや法律の改定などに応じた内容の書き換えが面倒 ・本当は教えたい項目の書き手がいない、またはテキストがない ・学生に身近で興味を持ちそうな話題(ケータイ、YouTube、WiMAXなど)が盛り込めない ・テキストを基にしたeラーニング教材を作りにくい このような課題をクリアするために、従来とは異なるアプローチでテキストを制作する試みを行っています。その内容をご説明します。ヒントはMS-DOSのconfig.sys。	Excel、Word、PowerPointなどのスキルを証明することができる「マイクロソフト認定資格MOS・MCAS」は、累計受験者数が200万人を突破した国際資格です。 現在、授業や課外講座などで学生への就職支援の一環として「マイクロソフト認定資格MOS・MCAS」を導入する大学が増えてきております。試験すぐに履歴書に記入できる資格として先方からも高い評価を得ています。企業でも業界や職種を問わずExcel、Word、PowerPointなどは「仕事に役立つ実務能力」として様々な企業で求められています。「事務処理が速く、正確になった」、「より説得力のある資料が作成できるようになった」と資格取得の効果を実感していただいております。今回は主に資格を活用して頂いている大学および企業の具体的な事例をご紹介します。	いま、情報教育を含む基礎学力教育が転換点を迎えています。社会的要請のもと、「社会人基礎力」「学士力」といった方向性が提示され、各教育機関で独自の、あるいは連携による試みが活発に行われています。弊社では、これら先進的な試みの社会的意義を強く感じるとともに、第一線で課題に向き合っておられる先方のご意見を頂戴しながら、教育現場で役に立つ教材やツールのご提供に取り組んでまいりました。「情報活用力診断テストRasti」とその関連教材「情報活用力」Rasti-Learningは、「情報活用能力こそが今後の人材育成の核であり、コンピュータ利用によって利用者の情報活用能力が高まる」という考えのもとに開発したテスト・教材です。ここ数年、ご共鳴いただいた教育機関・企業での導入事例が増加し、評価テストのデータも蓄積して参りました。今回は事例やデータ解析結果のご報告とともに、大学教育における新たなご活用方法をご提案申し上げます。	学生を取り巻くITツールが急速に進化し、表現手段も多様化する中、新しい学習環境が求められています。アップルは30年以上にわたり、常に教育現場に最新のIT学習環境を提供しました。本セッションでは、アメリカや国内の事例をもとに、MacやiPhoneを活用した、モバイル学習環境を紹介いたします。